

令和6年度 学校評価アンケート結果について

〈教職員アンケート結果から〉

設 問	項目	肯定的な回答	
		本年度	前年度
1	児童・生徒が充実した学校生活を送れるよう努めている。	100%	98%
2	エビデンスを意識し、一人ひとりが心地よく過ごせる学級・学年の雰囲気づくりに努めている。	98%	95%
3	学校行事や教育活動の中で、異学年交流を工夫し、よりよい人間関係づくりに努めている。	97%	94%
4	9年間を見通した生徒指導方針を確立し、一貫した指導を行うよう努めている。	88%	82%
5	教育相談などを通して、児童・生徒の心のケアに努め、いじめや不登校などへの早期対応につながる指導を行っている。	97%	98%
6	児童・生徒の悩みや相談に丁寧に対応している。	100%	100%
7	あいさつをするよう指導している。	97%	81%
8	児童会・生徒会の活性化に向けた取組を行っている。	94%	95%
9	ALT を活用した英語教育に取り組んでいる。	97%	100%
10	言語活動 (RS) の充実に向けた学習を行っている。	96%	82%
11	ICT 機器を効果的に活用した学習を行っている。	97%	98%
12	デジタルドリルなどを活用した個別最適な学習を行っている。	93%	72%
13	学校ではプログラミングの授業を行っている。	69%	51%
14	マイセンターや ICT 機器を効果的に活用し、自ら課題を見つけ解決する学習を進めることができている。	93%	93%
15	和プロジェクトの取組として、王寺町を知る・考える・関わる取組を行っている。	79%	69%
16	学校では探究的な学習を実施している。	87%	78%
17	児童・生徒に将来の夢や生き方、進路について考えさせようとしている。	94%	97%
18	特別支援教育を充実させ、個に応じた指導を行っている。	97%	77%
19	人権教育の重要性を認識し、一人ひとりを大切にされた教育を行っている。	97%	95%
20	保護者や地域の方々、ボランティアの方々と連携しながら教育活動を進めている。	95%	79%
21	家庭や地域と連携しながら、わかりやすく情報発信を行っている。	100%	93%
22	教員がお互いに授業見学を行い、指導力の向上を図っている。	85%	76%
23	4-3-2制の取組を推進している。	65%	73%
24	総合学力調査の結果分析をもとに、9年間の系統的な教科指導を行っている。	87%	87%
25	日頃から業務に対して効果的に取り組み、教育活動の充実に努めている。	97%	60%

○肯定的な回答が 80%以上(22 項目/25 項目中) ▼肯定的な回答が 60%以下(0 項目/25 項目中)

〔課題のある項目〕

- ①23 4-3-2制の取組を推進している。
- ②13 学校ではプログラミングの授業を行っている。
- ③15 和プロジェクトの取組として、王寺町を知る・考える・関わる取組を行っている。

〔課題〕

異学年交流の取組を実施していく上で、今後はさらに4-3-2制を意識し、それぞれの最高学年をリーダーとした取組を充実させていく。
デジタル教科書やデジタル教材を中心とした ICT 機器の活用は進んでいる。プログラミングの授業に関しては、扱っている教科が限定されるため低い数値になっていると考えられる。
和プロジェクトに関しては、来年度に王寺町制 100 周年を迎えるにあたり、総合的な学習の時間を活用した取組を企画し進めていく予定である。